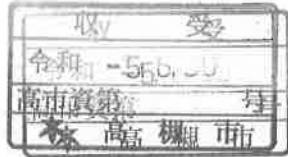
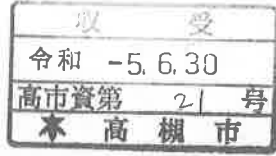


（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

（宛先）高槻市長



提出者

住 所 大阪府高槻市東上牧1-2-5

氏 名 株式会社ニチレイフーズ関西工場
工場長 丸山 大輔

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-669-1251（代）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニチレイフーズ 関西工場
事業場の所在地	大阪府高槻市東上牧1-2-5
計画期間	2023.4.1~2024.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食料品製造業
②事業の規模	売上高 275,697百万円 (2023年3月期ニチレイフーズグループ連結)
③従業員数	499名 (2023年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水）	汚泥（下記以外）
	排出量	10,019 t	166 t
	（これまでに実施した取組） 「SK会議」（生産性会議）（毎月実施）及び環境保全委員会（3ヶ月毎に実施）にて、生産ライン毎の廃棄物の発生状況を分析／把握し、抑制の対策を協議及び共有する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水）	汚泥（下記以外）
	排出量	9,720 t	161 t
	（今後実施する予定の取組） ＜全体＞削減率＝計画生産量の前年度比（▲2%）＋今年度削減▲1%＝前年度比▲3% とした。 ＜残渣＞生産ライン毎に目標原単位を設定し進捗管理を行う（全体/前年度比▲8.3%）。生産ラインにおける不良品や落下物の削減の取り組みを継続し、これによる排水処理設備の負荷の低減を図る。 ＜排水汚泥＞排水処理機器の定期メンテナンスによる能力維持：ピット清掃、脱水機、加圧浮上槽等 ＜蛍光灯＞LED照明器具への更新が遅れていた箇所の廃棄分		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・対象：汚泥、残さ、廃プラスチック、金属くず、乾電池 ・取組み：飛散流出防止策、保管量の管理、関連作業への周知
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状の取り組みの継続及び維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず	蛍光灯
1,562 t	362 t	17 t	0.02 t

②計画

動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず	蛍光灯
1,515 t	352 t	16 t	0.01 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

乾電池			
0.1 t	t	t	t

②計画

乾電池			
0.1 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9,145 t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインにおいて原料類（肉・米）の床への落下を削減し、排水溝へ流さないようにする。 ・排水処理機器の定期メンテナンスによる能力維持：ピット清掃、脱水機、加圧浮上槽等。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8,872 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・削減率＝計画生産量の前年度比（▲2%）＋今年度削減▲1%＝前年度比▲3% とした。 ・生産ラインにおける原料類（肉・米）の床への落下の削減取り組みを継続、及び周知の徹底。 ・生産機器の老朽化更新における不良品発生率の低減。 			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水）	汚泥（下記以外）
	全処理委託量	874 t	166 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	166 t
	再生利用業者への処理委託量	874 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	166 t
	(これまでに実施した取組) <排水汚泥、汚泥、残さ>肥料原料化及び飼料化による再利用。 <廃プラ>固形燃料化による再利用。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず	蛍光灯
1,562 t	362 t	17 t	0.02 t
t	8 t	t	0.02 t
1,562 t	10 t	17 t	0.02 t
t	t	t	t
t	352 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

乾電池			
0.1 t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水）	汚泥（下記以外）
	全処理委託量	848 t	161 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	161 t
	再生利用業者への処理委託量	848 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	161 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・削減率＝計画生産量の前年度比（▲2%）＋今年度削減▲1%＝前年度比▲3% とした。</p> <p><排水汚泥、汚泥、残さ>肥料原料化の継続。</p> <p><残さ>飼料化の増加の取り組みを強化。（全体の約17%/令和4年度実績）</p> <p><廃プラ>包装資材のサイズ/材質の見直しによる減量化の推進。</p>			
※事務処理欄			

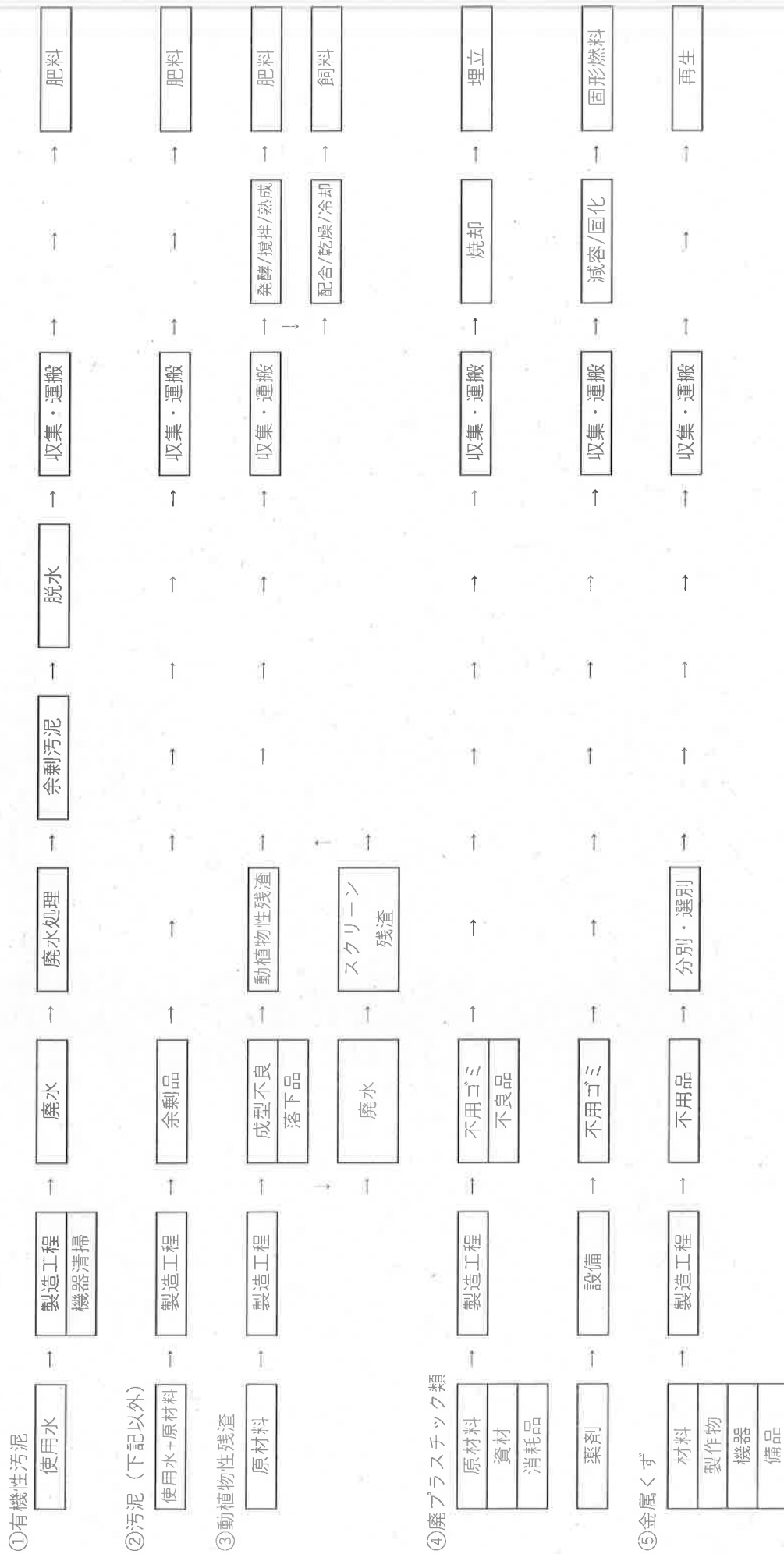
②計画

動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず	蛍光灯
1,515 t	352 t	16 t	0.01 t
t	7 t	t	0.01 t
1,515 t	10 t	16 t	0.01 t
t	t	t	t
t	342 t	t	t

②計画

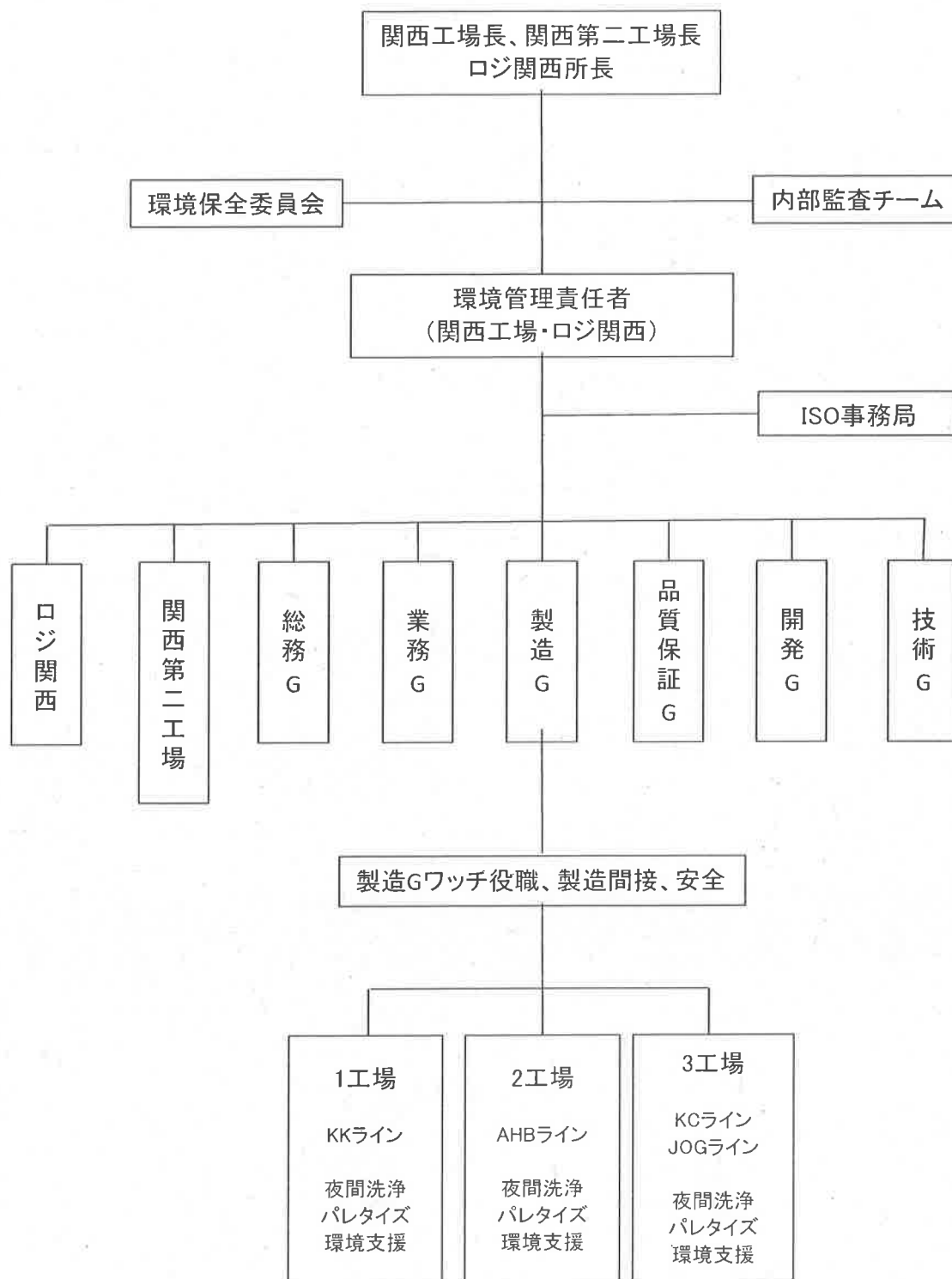
乾電池			
0.1 t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

【別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程】



【別紙2 管理体制図】

(ISO環境マネジメントシステム運用組織図)



今年度【令和5年度】目標

得意先	得意先名	得意先住所
得意先	得意先名	得意先住所
得意先	得意先名	得意先住所

品名	1. 品名	2. 品名	3. 品名	4. 品名	5. 品名	6. 品名	7. 品名	8. 品名	9. 品名	10. 品名	11. 品名	12. 品名	13. 品名	14. 品名	15. 品名	16. 品名	17. 品名	18. 品名	19. 品名	20. 品名	計		
																					2. 品名	3. 品名	4. 品名
1	有機性汚泥(排)	0.720	0.720	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	200(2)汚泥(下記以外)	1.61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	1000(3)助却物(残渣)	1.515	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	600(4)酸つラスチック類	0.352	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1210(5)金属くず	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	3114(6)蛍光灯	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	3620(7)乾電池	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
	合計	11.765	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注1)トン単価は初期として四捨五入。ただし、数字が初期であれば小数点以下桁まで記載可。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

高槻市長 殿

提出者

住所 大阪市中央区平野町一丁目5番7号

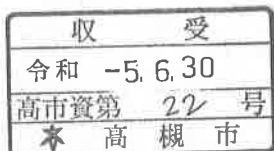
氏名 (株)長谷工コーポレーション 関西

代表取締役副社長執行役員

関西代表 谷 淳一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6203-4985



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)長谷工コーポレーション関西
事業場の所在地	(該当管轄内事業所)
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	826,085,000円
③従業員数	548名(社員及び派遣社員 3月31日付)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	5,653.04 t	6.82 t
	（これまでに実施した取組） ・場内にて脱水後、排出した（汚泥） ・資材・商品の作業所搬入の際の梱包材を省力化し、排出量を削減した（廃プラ・ダンボール・建設系混合廃棄物） ・分別収集の徹底により建設系混合廃棄物の排出量を削減した（建設系混合廃棄物） ・場内で再利用できる資材は極力再利用の徹底をはかった（廃プラ） ・配管材・衛生器具・家具等の梱包をなくし発生を抑えた（廃プラ・ダンボール・建設系混合廃棄物） ・プレカット・ユニット化を促進、作業所での加工をなくすことで廃棄物の発生を抑えた（廃プラ・金属くず・建設系混合廃棄物）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	5,087.74 t	6.14 t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラスチック、ダンボール、金属くず、ガラスくず等、ガレキ・建設系混合廃棄物はそれぞれ分別・保管している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・特になし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
4.16 t	2.98 t	438.38 t	24.42 t

②計画

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
3.74 t	2.68 t	394.54 t	21.98 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

そのたがれき類	建設混合廃棄物 (管理型)		
37.00 t	22.49 t	t	t

②計画

そのたがれき類	建設混合廃棄物 (管理型)		
33.30 t	20.24 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t
	（これまでに実施した取組） ・特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t
（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t
（今後実施する予定の取組） ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	5,653.04 t	6.82 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	5.72 t
	再生利用業者への処理委託量	5,653.04 t	6.82 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・新規業者採用の際、過去の処理実績・取引先を重視して審査を実施した ・リサイクル率の高い処理業者を優先的に採用した ・電子マニフェスト登録されている業者を採用した ・新規業者の採用を控え、現在取引のある業者には随時処理状況の現地確認を行った ・優良認定業者を優先的に採用した		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片 ¹
4.16 t	2.98 t	438.38 t	24.42 t
3.20 t	2.98 t	438.38 t	24.42 t
4.16 t	2.98 t	438.38 t	24.42 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

その他がれき類	建設混合廃棄物 (管理型)		
37.00 t	22.49 t	t	t
37.00 t	22.49 t	t	t
37.00 t	22.49 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	5,087.74 t	6.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	5.15 t
	再生利用業者への処理委託量	5,087.74 t	6.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
※事務処理欄			

②計画

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
3.74 t	2.68 t	394.54 t	21.98 t
2.88 t	2.68 t	394.54 t	21.98 t
3.74 t	2.68 t	394.54 t	21.98 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

その他がれき類	建設混合廃棄物 (管理型)		
33.30 t	20.24 t	t	t
33.30 t	20.24 t	t	t
33.30 t	20.24 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

別添1 処理工程図

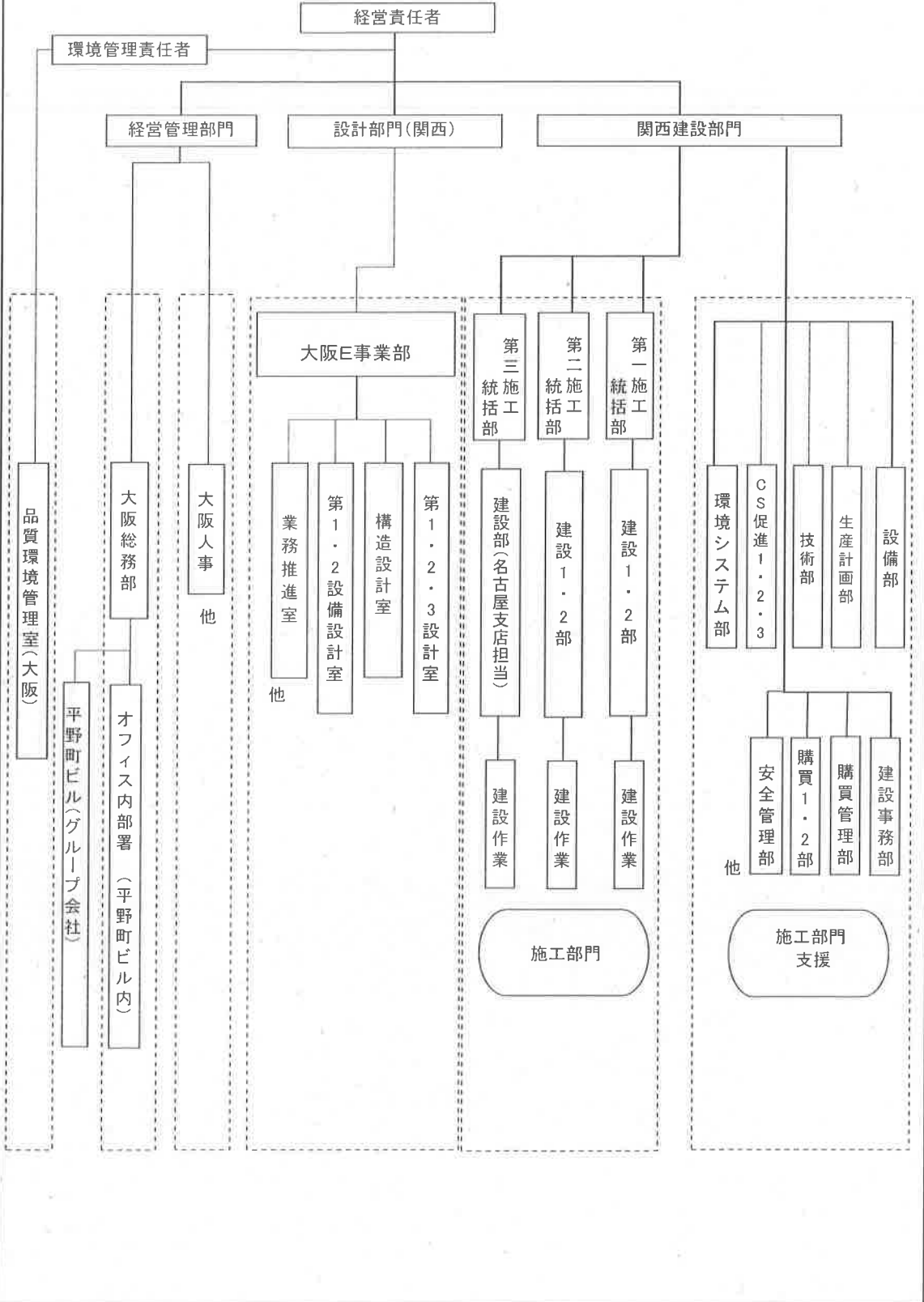
第1面

④産業廃棄物の一連の処理の工程

- ・建設汚泥→再生処理業者に委託して、脱水・固化等により再資源化
- ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、破碎し、RPF化により再資源化、または焼却により熱回収
- ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、破碎・焼成し、セメント原材料、再生碎石、骨材として再資源化
- ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、選別・破碎・減容固化し、再生燃料として再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、破碎し、パーティクルボードとして再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、破碎・選別し、パルプ原料として再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、選別・破碎し、燃料用チップとして再資源化
- ・紙くず→再生処理業者に売却して、破碎・溶解し、再生紙原料として再資源化
- ・紙くず→再生処理業者に売却して、破碎し、再生燃料として再資源化
- ・金属くず→再生処理業者に売却して、破碎し、製鋼原料として再資源化
- ・繊維くず（廃畳類）→中間処理業者に委託して、破碎し、埋立処分
- ・ガラス・陶磁器くず→再生処理業者に委託して、選別・破碎し、再生路盤材として再資源化
- ・ガラス・陶磁器くず→再生処理業者に委託して、破碎し、路盤材原料として再資源化
- ・その他がれき類→再生処理業者に委託して、破碎し、再生碎石として再資源化
- ・がれき類（コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、破碎し、再生碎石として再資源化
- ・がれき類（アスファルト・コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、破碎し、アスファルト骨材として再資源化
- ・がれき類（アスファルト・コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、破碎し、一般販売
- ・廃石膏ボード→再生処理業者に委託して、破碎し、セメント原材料として再資源化
- ・廃石膏ボード→再生処理業者に委託して、破碎し、再生ボード原料として再資源化
- ・石綿含有（がれき類）→最終処分業者に委託して、埋立処分
- ・石綿含有（ガラス・陶磁器くず）→最終処分業者に委託して、埋立処分
- ・石綿含有（廃プラスチック類）→最終処分業者に委託して、埋立処分
- ・混合廃棄物（管理型）→中間処理施設において分級・縮減後、再生処理業者に委託して再資源化と最終処分業者に委託して埋立処分

別添 2 管理体制図

第2面-1
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



前 年 度 【 令 和 4 年 度 】 実 績

事業年度	事業内容	事業の進捗状況										売上高	営業利益	営業利益率	営業利益/売上高	営業利益/前年度	営業利益率/前年度	営業利益率/前年度		
		1. 売上高	2. 売上高増減	3. 売上高増減率	4. 売上高増減の要因	5. 売上高増減の要因	6. 売上高増減の要因	7. 売上高増減の要因	8. 売上高増減の要因	9. 売上高増減の要因	10. 売上高増減の要因									
1	2006 汚泥	5,622.24										5,622.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	600 炭プラスチック類	6.62										6.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	800 木くず	4.16										4.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	1,222 炭石炭床	2.95										2.95	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	(50) コンクリート片	4,322.24										4,322.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	1,000 アスコン片	24.42										24.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	1,000 その他のれき類	37.00										37.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	2,000 建設廃合廃棄物(管 理型)	22.42										22.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
13													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
14													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
15													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
16													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
17													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
19													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
20													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
22													0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計		6,092.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6,092.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(注)1.売上高は税別として計上され、消費税が別途課税されている。また、消費税が別途課税されているものは、消費税が別途課税されているものとして計上されている。

今年年度【令和5年度】目録



No	品名	（注）以下は、令和5年度中の発生見込額を記載し、令和6年度以降は発生見込額を記載しない。																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
1	2001 珪泥	5,087.74					5,087.74	0.00	5,087.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
2	000 成プラスチック扣	6.14					6.14	0.00	6.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
3	800 水くす	3.74					3.74	0.00	3.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
4	4322 床石ボード	2,69					2,69	0.00	2,69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
5	1501 コンクリート片	3,045.4					3,045.4	0.00	3,045.4	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
6	1507 アス・コン片	21.98					21.98	0.00	21.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
7	その他がれき扣	33.30					33.30	0.00	33.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
8	建設副産物 (骨材等)	20.24					20.24	0.00	20.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																								
22																								
	合計	5,570.36					5,570.36	0.00	5,570.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	480.77

（注）11トン未満は簡易として回収し、11トン以上の場合は、数字が黒色で表示されず、赤字で記載する。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月31日

高槻市長 殿

提出者

住所 大阪市中央区北浜2丁目2番22号

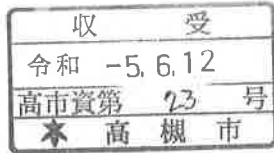
氏名 不二建設株式会社 関西支社

取締役副社長執行役員

関西支社長 船橋 慶一郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6228-6606



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	不二建設株式会社 関西支社
事業場の所在地	関西支社管轄内事業所：工事作業所各所
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06:総合工事業
②事業の規模	売上高：158億円
③従業員数	126名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	排出量	990.00 t	444.00 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。ISO14001認証を取得、環境教育を継続。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	排出量	980.10 t	439.56 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。ISO14001認証を取得、排出量削減目標を継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし。ISO14001認証を取得、環境教育を継続。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし。ISO14001認証を取得、排出量削減目標を継続。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）		
54.00 t	13.94 t	t	t

②計画

アス・コン片	建設混合廃棄物（管理型）		
53.46 t	13.80 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t
	(これまでに実施した取組) ・なし。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t
	(今後実施する予定の取組) ・なし。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	全処理委託量	990.00 t	444.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	990.00 t	444.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストを推進。昨年度約3900件、99.9%達成。 ・運搬処分電子契約を推進。昨年度約240件、97.5%達成。 ・4tコンテナにて、混合廃棄物、木材を標準分別。 ・コンクリート塊、アス・コン塊は状況に応じて保管場所を設置。 ・多量に処分を委託する処理事業者の現地審査を随時実施。 適切な処理状況を確認する。		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

アス・コン片	建設混合廃棄物 (管理型)		
54.00 t	13.94 t	t	t
0.00 t	1.56 t	t	t
54.00 t	1.72 t	t	t
0.00 t	1.56 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

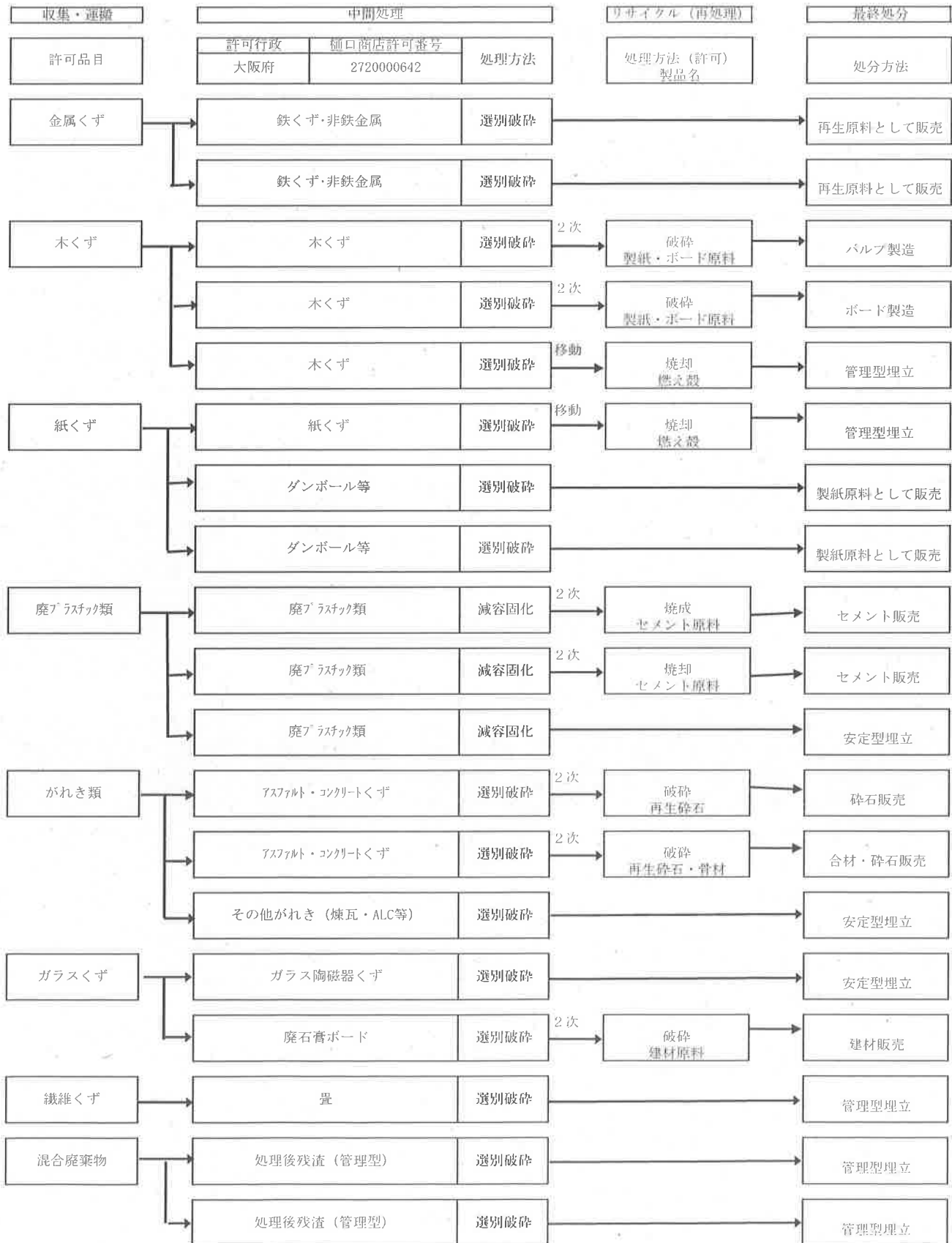
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
②計画	全処理委託量		980.10 t	439.56 t
	優良認定処理業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量		980.10 t	439.56 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。ISO14001認証を継続。現状に同じ。 ・産廃電子契約を推進。 ・電子契約対応及び環境意識の高い処理事業者を優先的に採用する。			
※事務処理欄				

②計画

アス・コン片	建設混合廃棄物 (管理型)		
53.46 t	13.80 t	t	t
0.00 t	1.54 t	t	t
53.46 t	1.70 t	t	t
0.00 t	1.54 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

別添1-1処理工程図（一般）

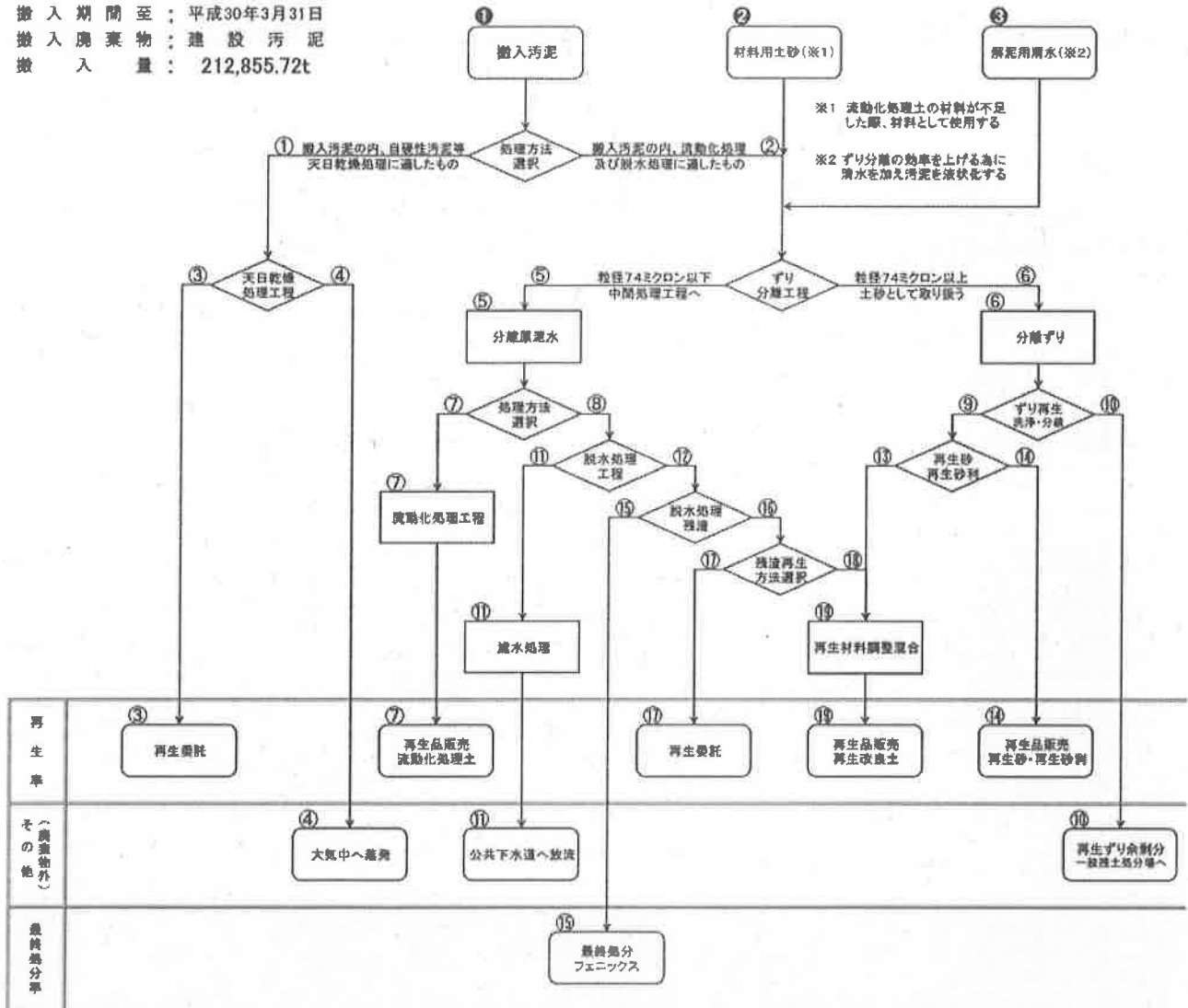
産業廃棄物処理ルート



別添 1-2 処理工程図 (汚泥)

株式会社三和处理工程図

搬入期間自 : 平成28年4月1日
 搬入期間至 : 平成30年3月31日
 搬入廃棄物 : 建設汚泥
 搬入量 : 212,855.72t



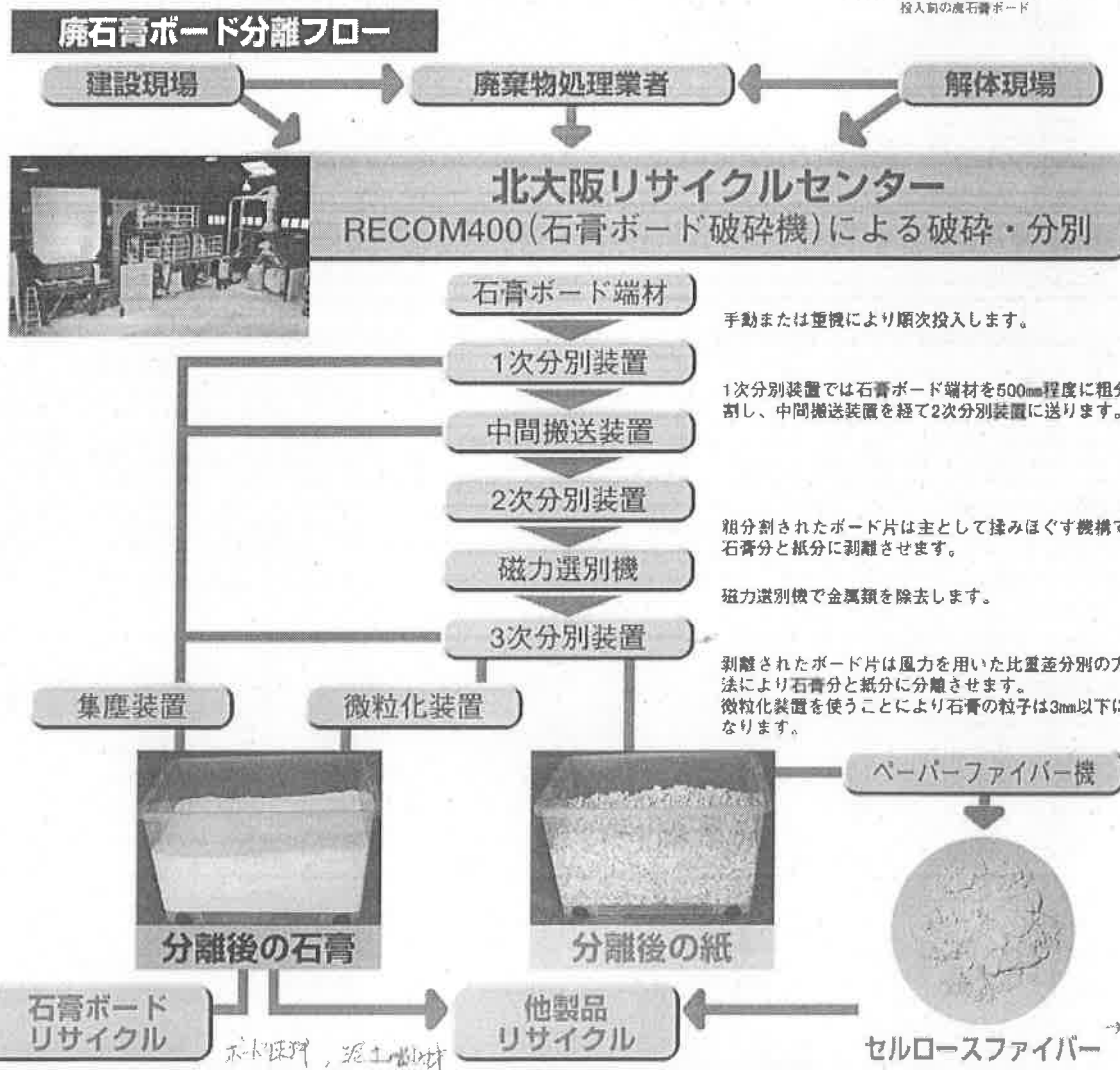
大阪初の本格廃石膏ボードリサイクル施設 北大阪リサイクルセンター

廃石膏ボードの処理が社会問題化してきました。現行の廃棄物清掃法では一切管理型処分が義務付けられています。最終処分費用の高騰、環境保全を考えた時、問題点は次のようなことではないでしょうか？

- 廃石膏ボードの最終処分方法が難しくなっている。
- 今後は新築系ボードより解体系ボードの処理が急務。
- 分離後の石膏の安定型処分費用の増大。
- 安価に処理でき、できることならリサイクルさせたい。



投入前の廃石膏ボード

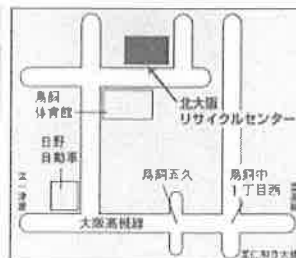


注意事項

投入する石膏ボードは「乾燥状態」とし、湿ったボードやゴミなどの異物を含んだボードは処理できません。また磁力選別機は高磁力のもので金属類を除去しますが100%の磁選はできませんので、金属類を帯びた石膏ボードのご依頼は極力さけてください。

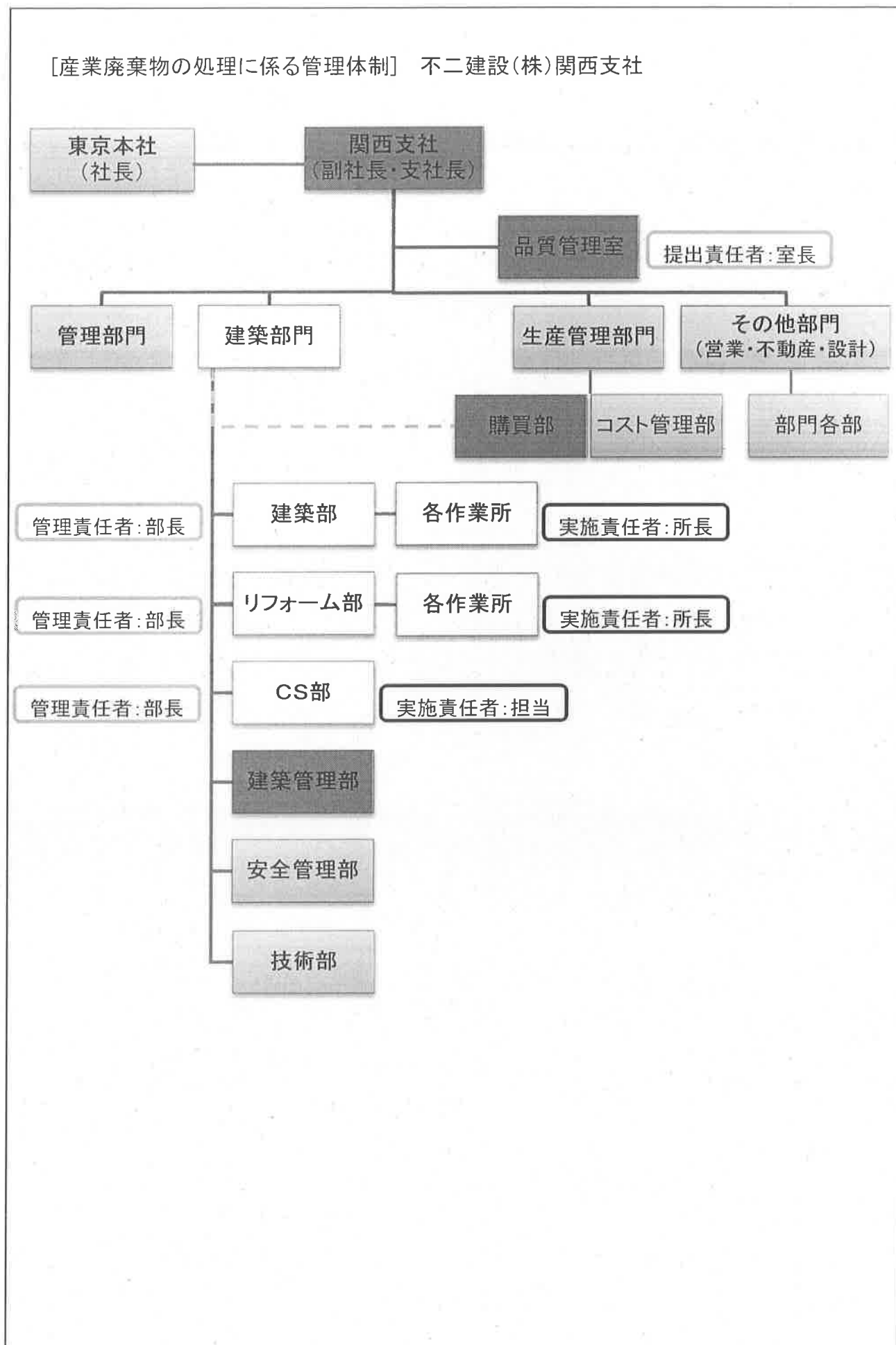
詳細については御一報ください。

北大阪リサイクルセンター (有)ラルス 環境事業部
〒566-0052 大阪府摂津市鳥飼本町1丁目8-20 TEL.072-653-8806 FAX.072-653-8816
URL : <http://www.larus.co.jp/> E-mail : info@larus.co.jp



別添2 管理体制図

[産業廃棄物の処理に係る管理体制] 不二建設(株)関西支社



前 年 度 【 令和 4 年 度 】 実 績

経費支出の項目	①経費の発生		②経費の処理										③経費の支払			
	経費発生額	繰越金	(1)経費の発生	(2)繰越金	(3)経費の発生	(4)繰越金	(5)経費の発生	(6)繰越金	(7)経費の発生	(8)繰越金	(9)経費の発生	(10)繰越金	(11)経費の発生	(12)繰越金	(13)経費の発生	(14)繰越金
1 200 汚泥	399.00															
2 1591 コンクリート片	441.00															
3 1592 アスコン片	54.00															
4 0000 建設総合廃棄物(管 理費)	113.84															
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22 合計	1,950.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,689.72	1.56	0.00	10.66	1.44

(注)1000円未満は捨断して四角五入。ただし、四角有段である場合は下前までは五入とする。

今年度【令和5年度】目 録

品目	数量	単価	金額	税引	税引後	備考	品名	数量	単価	金額	税引	税引後	備考
1	200	500.00	100000.00	0.00	100000.00		200 汚泥						
2	150	400.00	60000.00	0.00	60000.00		150 コンクリート片						
3	100	53.46	5346.00	0.00	5346.00		100 アスコン片						
4	1300	13.00	16900.00	1.54	18440.54		1300 建設用雑貨物 (管理型)						
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
合計			18440.54	0.00	18440.54								

注: 1) 1000円未満は四捨五入, 2) 10000円未満は四捨五入, 3) 100000円未満は四捨五入, 4) 1000000円未満は四捨五入

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 15日

高槻市長 殿

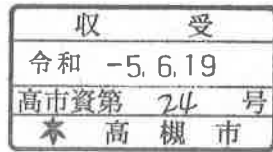
提出者

住 所 大阪府寝屋川市大成町1-1

氏 名 株式会社前田組
代表取締役 前田浩輝

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-824-1111

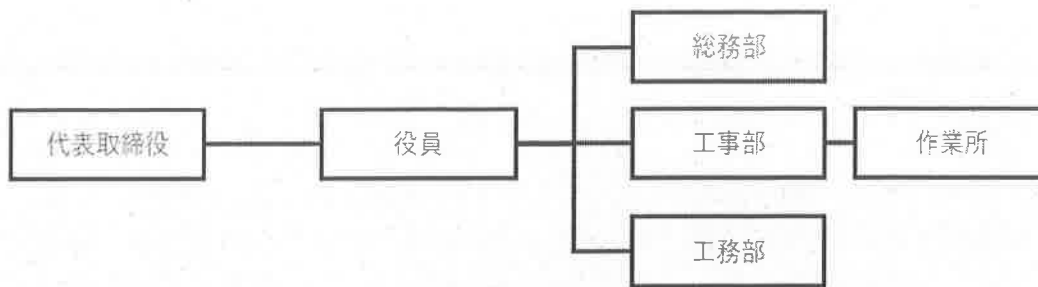


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 前田組
事業場の所在地	大阪府寝屋川市大成町1-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	692,000万円
③従業員数	164人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・木くず⇒再生処理業者に委託して、チップ（合材用、燃料用）として再資源化 ・がれき類⇒再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・混合廃棄物⇒中間処理業者に委託して、選別後再資源化又は埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

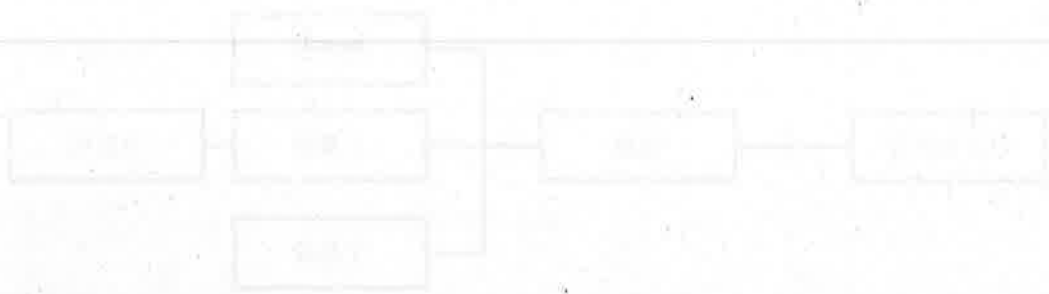


産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
	排出量	15 t	2 t
	(これまでに実施した取組) ・実寸発注の実施（木くず） ・余剰材の引き取り（木くず） ・梱包材の簡素化 ・ダンボール等は現場分別を実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排出量	10 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ・実寸発注の実施（木くず） ・余剰材の引き取り（木くず） ・梱包材の簡素化 ・ダンボール等は現場分別を実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）木くずは分類するとともに、石綿含む産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）木くずは分類するとともに、石綿含む産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード
1 t	73 t	302 t	4 t

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
50 t	100 t	2000 t	50 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
155 t	464 t	2208 t	59 t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

ガラス陶磁器くず (石綿含有)				
3 t	t	t	t	t

②計画

t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特に無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特に無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	15 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	15 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストを導入している業者に委託する ・今後も産業廃棄物を委託できる業者を選定し、委託基準に従って、書面による契約を行う。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	繊維くず	石膏ボード
1 t	73 t	302 t	4 t
t	16 t	t	t
1 t	73 t	302 t	4 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
155 t	464 t	2208 t	59 t
t	25 t	t	21 t
155 t	464 t	2208 t	59 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

ガラス陶磁器くず(石綿含有)			
3 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	全処理委託量	10 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストを導入している業者に委託する。 ・今後も産業廃棄物を委託できる業者を選定し、委託基準に従って、書面による契約を行う。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 			
※事務処理欄			

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
50 t	100 t	2000 t	50 t
t	t	t	10 t
50 t	100 t	2000 t	50 t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 【 令 和 4 年 度 】 実 績

取組の項目	計 画 の 進 捗 状 況										計 画 外 の 取 組	計 画 外 の 取 組 費 用	計 画 外 の 取 組 費 用 対 象 者			
	1. 取組の進捗状況	2. 取組の進捗状況	3. 取組の進捗状況	4. 取組の進捗状況	5. 取組の進捗状況	6. 取組の進捗状況	7. 取組の進捗状況	8. 取組の進捗状況	9. 取組の進捗状況	10. 取組の進捗状況						
1 221 建設費	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 600 仮ラスタック	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 700 紙くす	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 800 木くす	73	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 900 板くす	302	302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 1122 石膏ボード	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 1500 がれき箱	155	155	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 1501 コンクリート破片	404	404	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 1502 アスコン破片	2,208	2,208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 2020 管理費建設系混 合体素物	59	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 2420 (石綿含有) ガラス繊維器くす	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合計	3,281	3,281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)金額は原則として円換入。ただし、数字が小数であれば小数以下3桁まで記載可。

今年度【令和5年度】目標

品名	数量	原 料 の 単 位										備 考											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10												
22) 建設汚泥	10										10												
800 木くず	50										50											10	
4500 がれき項	50										50												
4530 コンクリート破片	120										120												
4500 アスコン破片	2,000										2,000												
65300 普通型砕石系混 合焼炭物	50										50											10	
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
合計																							20

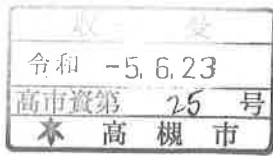
(注)1)トン未満は四捨五入として四捨五入、ただし、数字が整数で終われば小数点以下は四捨五入は可。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 22日

（宛先）高槻市長殿



提出者

住 所 大阪府高槻市緑町21-3

氏 名 丸大食品株式会社高槻工場
工場長 黒川拓史

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-661-2554

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	丸大食品株式会社高槻工場
事業場の所在地	大阪府高槻市緑町21-3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09
②事業の規模	162億
③従業員数	450人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙②参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】 別紙集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 生産工程の合理化による排水処理場への負荷低減 生産工程での不良発生の低減 フィルム歩留まり向上 分別の促進により廃棄物の一部を有価物へ 照明設備のLEDへの切り替え促進		
②計画	【目標】 別紙集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 生産工程の合理化による排水処理場への負荷低減 生産工程での不良発生の低減 フィルム歩留まり向上 照明設備のLEDへの切り替え促進 分別の促進により廃棄物の一部を有価物へ		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有機性汚泥 動・植物性残渣 廃プラスチック類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有機性汚泥 動・植物性残渣 廃プラスチック類

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥による肥料原料化		
②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥による肥料原料化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥			
②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 有機性汚泥の脱水・乾燥			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】集計用シート（前年度実績）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】集計用シート（今年度目標）のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

年度	事業の進捗			事業の状況			事業の成果			事業の経費			事業の収入			計	
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率		
1	210	10,425		10,425	100	10,255	130	100		10,255			100				
2	210	6		6													
3	1,000	3		3													
4	1,000	22		22													
5	1,000	26		26													
6	1,000	238		238													
7	1,000	472		472													
8	600	1		1													
9	600	4		4													
10	600	24		24													
11	600	43		43													
12	600	85		85													
13	600	120		120													
14	600	271		271													
15	3,111	0.31		0.31													
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
合計		11,637	0.00	0.00	0.00	10,425.00	0.00	100.04	10,254.54	150.24	0.00	1,212	1,010	0	0	7.09	100

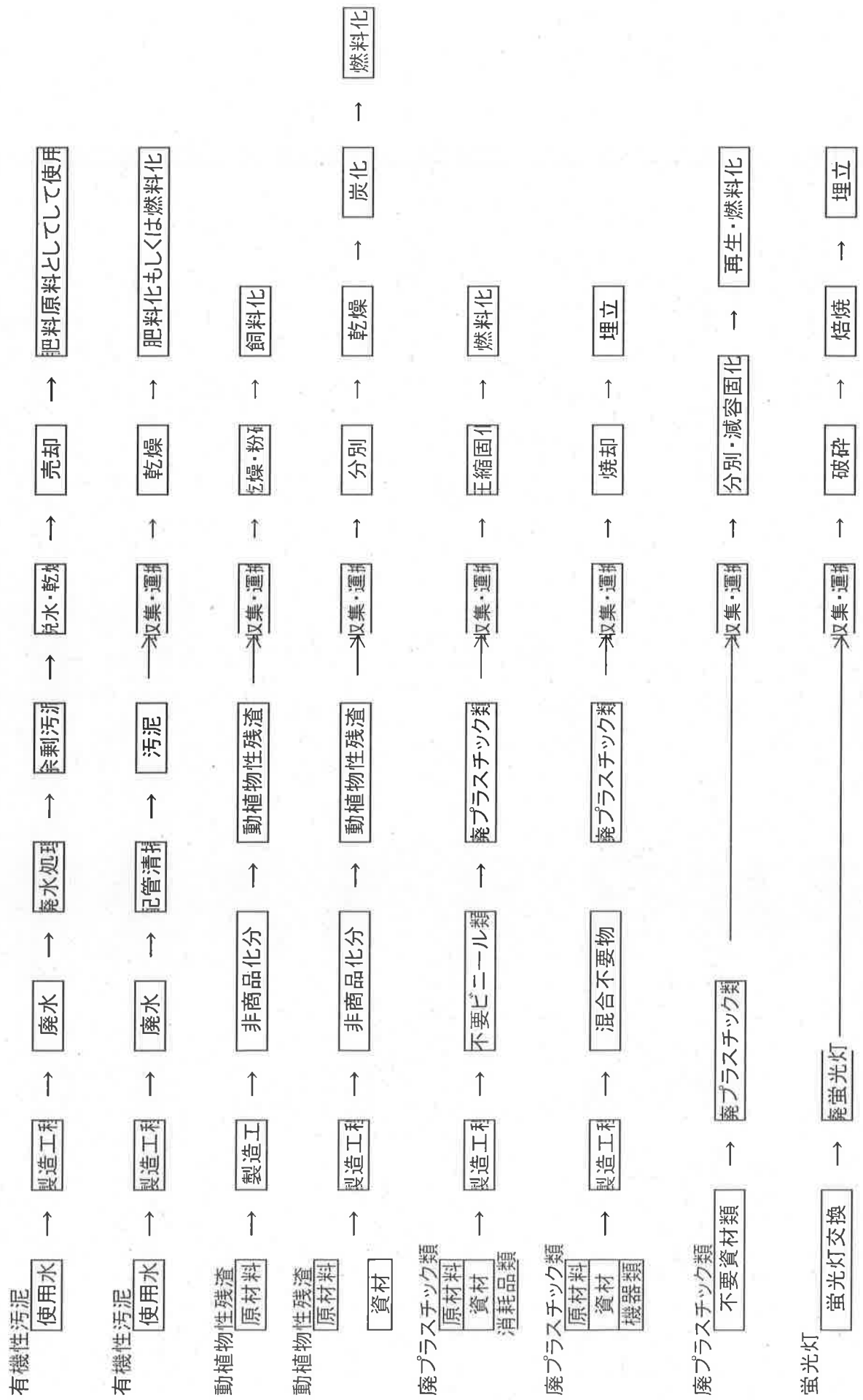
(注1)トシ単位の原価として四捨五入、ただし、顧客が受取を求めた場合は当該年度に計上する。
(注2)上記の年度経費の増減以外の増減は、必要に応じて、直接増減入力するものと見做す。増減も追加してください。

今年度【令和5年度】目標

年度	達成率		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
1	10,000	10,000	125	5,625	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	233	233	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	459	459	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	40	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	110	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	250	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	523	523	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11,243	11,243	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1.本表は原則として円表示。ただし、数字が極めて小さく記載された場合は小数点以下3桁まで記載する。

(別紙①)
産業廃棄物発生工程フローシート



高槻工場環境管理(産業廃棄物管理)体制図

